

うしろ
うしろ
え

6.4

あなたの悩みも
“一笑両断”

企画・プロデュース：岡田有正 企画：古賀誠一 石塚康生 プロデューサー：近藤あゆみ 山田大作
原作：佐藤愛子 九十九 何があっても（九十八巻、戦いもついに終わった）（小学館刊）
監督：前田哲 脚本：大島里美 音楽：富貴晴美
主役：チーズ 木村カスラ（EVA / Victor Entertainment）

公式LINEは
こちら



国民的エッセイ
誕生までの

笑いと共に感の痛快エンターテイメント!

寿

シリーズ累計175万部
佐藤愛子の大人気エッセイが映画化!

人生100年時代に贈る、前向きになれる痛快エンターテインメント!

生きづらい世の中を“一笑両断”!

INTRODUCTION

歯に衣着せぬ物言いで人気の直木賞作家・佐藤愛子。昨年100歳を迎えた彼女のベストセラー・エッセイ集『九十歳、何がめでたい』『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』を原作に、90歳を迎えた草笛光子が、エネルギッシュかつチャーミングに等身大の佐藤愛子を熱演し、映画化! 彼女を支える頑固な中年編集者・吉川真也役に唐沢寿明、愛子の娘・響子役に真矢ミキ、さらに豪華キャストとゲストが多数登場! 映画『老後の資金がありません!』で老若男女の共感を呼んだ前田哲監督がメガホンをとり、2024年No.1の笑いと共感の痛快エンターテインメントをお届けします!

STORY

断筆宣言をした90歳の作家・佐藤愛子(草笛光子)は、新聞やテレビをぼうっと眺める鬱々とした日々を過ごしていた。同じ家の2階に暮らす娘・響子(真矢ミキ)や孫・桃子(藤間爽子)には、愛子の孤独な気持ちは伝わらない。同じ頃、大手出版社に勤める中年編集者・吉川真也(唐沢寿明)は、昭和気質なコミュニケーションがバワハラ、セクハラだと問題となり、謹慎処分、妻や娘にも愛想を尽かされ、仕事にプライベートに悶々とする日々。そんなある日、吉川の所属する編集部では愛子の連載エッセイ企画が持ち上がり、吉川が愛子を口説き落として、晴れて担当編集に! このふたりの出会いが、新たな人生を切り開く——?!

～メイシアターシネマの会～

「九十歳。何がめでたい」 日本語字幕付き上映

令和7年(2025年) 6月4日(水) ①10:30 ②14:00
(開場は各回上映開始の30分前)

上映時間99分



メイシアター

吹田市文化会館中ホール

阪急 吹田駅前 <https://www.maytheater.jp/>

入場料

前売 1,000円 当日 1,300円

<入替制/全席指定席>

チケット発売日 ※未就学児入場不可

4月8日(火) メイシアター・メイト 先行発売

4月9日(水) 一般発売

販売所

メイシアタープレイガイド窓口 06-6386-6333(9:00～18:30)

メイシアターインターネットチケット <https://maytheater.jp/>

ローソンチケット <http://l-tike.com> (Lコード 56773)

TNKツーリスト(JR吹田駅前)

※お客様用の駐車場はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

主催：(公財)吹田市文化振興事業団/大阪映画センター お問合せ:メイシアター 06-6386-6333(9:00～18:30)

【表面のQRコードは劇場公開中の公式LINEの為、現在はお使いいただけません。】